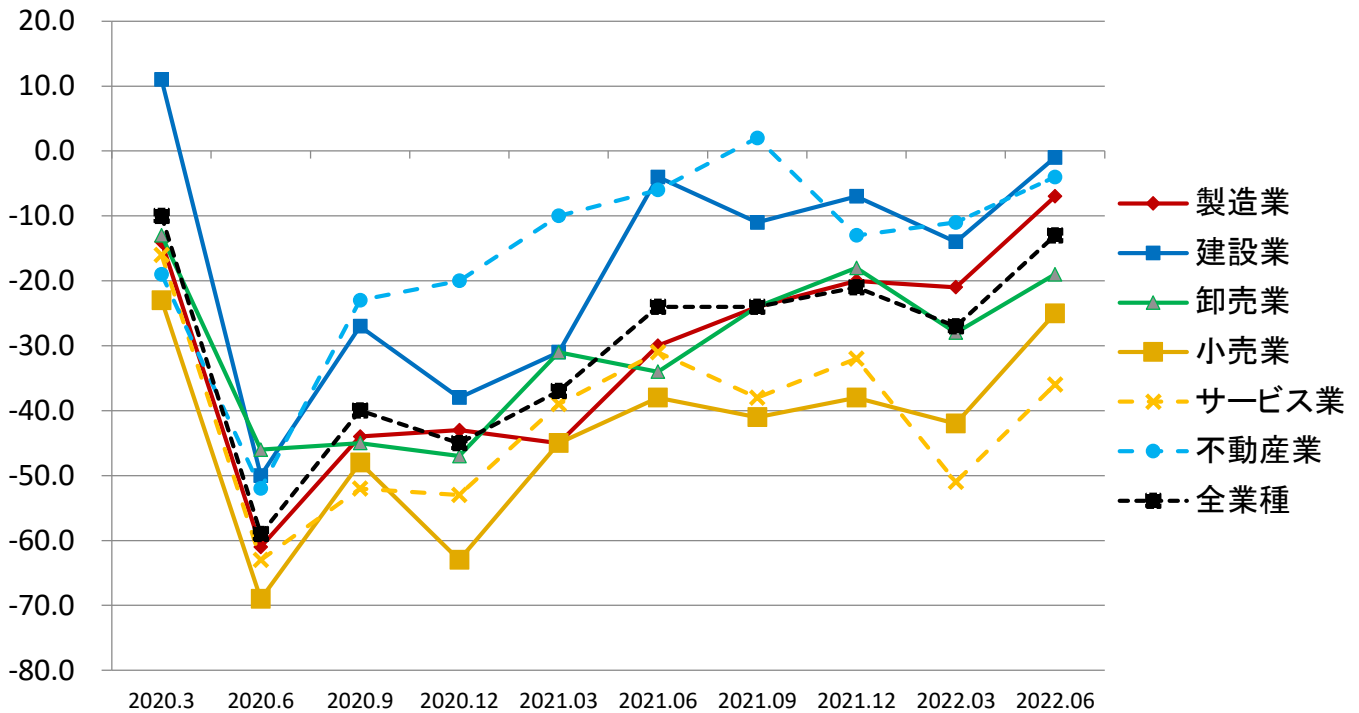


# 福生市商工会 経営だより

## 1. 多摩地域の小規模企業業種別業況判断DIの推移



※製造業・建設業は19人以下を、卸売業・小売業・サービス業は4人以下を小規模企業としています。  
出典：多摩信用金庫 多摩けいざい No.101

## 2. 業況判断DIの分析

2022年の6月期は、全業種業況DIが前期より15ポイント上昇の-1ポイントとなり、新型コロナウイルスによる感染拡大がはじまった2020年3月期以来、9四半期ぶりの高水準になりました。これは各企業の売上高の回復が業況を押し上げたと考えられます。一方で、原材料等仕入れ価格の上昇や円安などから、楽観的な見通しを持つことは難しい状況であると考えられます。

製造業: +14ポイント、卸売業: +9ポイント、小売業: +17ポイント、サービス業: +15ポイント、建設業: +13ポイント、不動産業: +7ポイントと全ての業種において上昇傾向が見られました。しかし、サービス業については、-36ポイントと全業種の中でも低い状態にあり、引き続き厳しい状況にあります。

## 3. 中小企業診断士の一言

原材料価格の高騰や、電気・水道・ガス料金の値上げの影響で利益が圧迫されています。コスト削減に取り組む他に、仕入価格を見直して適切に販売価格に反映するように取引先との交渉を検討しましょう。価格交渉は、誠意を伝える、複数名で訪問する、仕事量が変わったなどの適切なタイミングで行う等のポイントがあります。価格交渉を行う必要性は感じているが、どのような準備をし、何から取り組めば良いのかわからないとお悩みの際は、ぜひ商工会にご相談ください。相談員が、価格交渉の準備や取り組み方を丁寧に説明します。

## 4. 主要業界のトレンド

### 【全体】

電気代等の高騰に対応するため、省エネ対策に取り組みましょう。会社で発生するコストは、電気代やガス代などの「エネルギーコスト」、コピー代や送料の「オフィスコスト」、物流費用や商品ロス、人件費の「オペレーションコスト」の3つがあります。エネルギーコストが高騰しているため、オフィスコストやオペレーションコストの削減も含めて取り組んでみましょう。

### 【製造業】

作業現場の設備を見直しましょう。環境省の「Fun to Share」では2週間に1回冷暖房のフィルター清掃をすることで、冷房時で4%、暖房時で6%の省エネになるとされています。また、室外機を夏は直射日光にあたらないようにし、冬は直射日光にあたるようにすることも省エネ効果につながります。

### 【サービス業】

飲食店において、冷蔵庫の消費電力は庫内温度を下げるほど大きくなります。冷凍、冷蔵庫の温度表示による各食材の適正な保管温度を設定し冷やしすぎることを無ないようにしましょう。また、経済産業省「一般飲食店における省エネルギー実施要項」では、冷蔵庫の扉を1日100回開閉すると、50回の時と比べて約15%も電力消費量が増加するとあります。冷蔵庫内の整理整頓を行い、扉の開閉回数を減らしましょう。

### 【小売業】

口コミは、予算がかからずにリピーターが獲得できる販売促進方法です。売上拡大のために、お客様同士の口コミを促進しましょう。口コミ発生のためには「記憶しやすく、伝えやすい」ことが重要です。例えば、顧客からお店を愛称やキャッチフレーズで呼ばれていたり、「全ての魚が美味しい鮮魚店」よりも「脂の乗った鯖が美味しい鮮魚店」のように特徴が絞り込まれていると口コミが生じやすいです。自社の「記憶しやすく、伝えやすい」情報を発信し口コミを促進しましょう。

### 【建設業】

建設現場は他業種に比べ、エネルギーコストが大きいことが特徴です。建設機械の旋回角度をできるだけ小さくすることや、アイドリングストップを励行し、冬季の暖機運転を目安として5分とする、停車時間20秒以上の場合はエンジンをストップするなど、ほんの小さな工夫でも大きな省エネにつながります。

## 5. 小さな企業の新たな取組みのためのヒント

過ごしやすい気候になり、オクトーバーフェストやグルメフェアなど屋外イベントのニュースを目にすることが多くなりました。新型コロナウイルスの影響で、インターネットやスマートフォンなどデジタルが浸透しましたが、その反動でリアルな体験への需要が高まっています。感染症対策を講じながら、小売飲食業での試食・試飲販売、製造業での工場見学、サービス業での体験レッスン、建設業でのリフォームフェアなど、リアル体験を販売促進に取り込んでみましょう。リアル体験の販売促進は、手軽で体験しやすい内容にすると良いでしょう。商品やサービスを知るきっかけとなり、宣伝効果が高まります。